

令和元年度 第 2 回  
全国健康保険協会福岡支部評議会 議事概要

日 時：令和元年7月18日（木）15：00～16：45  
場 所：博多三井ビル 8階会議室

出席評議員：井上評議員・鬼崎評議員・高田評議員・永水評議員・馬場園評議員  
・濱地評議員・藤田評議員（五十音順）（9名中7名出席）

1. 議題

- （1）協会けんぽ（医療分）の平成30年度決算（見込み）について
- （2）協会けんぽ福岡支部調査研究事業について（報告）
- （3）令和2年度福岡支部事業計画（うち医療費適正化部門）の検討について

2. 議事概要

（1）協会けんぽ（医療分）の平成30年度決算（見込み）について  
事務局より、資料1に沿って説明。

《主な意見と回答》

【被保険者代表】

今後も後期高齢者支援金の負担の増加が見込まれるのであれば、これからますます健康保険組合が解散して協会へ移る可能性が出てくるのではないのか。

【事務局】

可能性はあると思う。

【学識経験者代表】

保険料率が10.0%を超えている健康保険組合は解散も考えている。今後、後期高齢者が増え、後期高齢者支援金も増えることを考えれば、そのほうが、被保険者本人も雇用主も保険料の拠出が少なくて済む。

【事業主代表】

被保険者数が増え保険料収入が増加し、財政的には豊かになっているように見えるが、長期的に被保険者数が増えることは協会けんぽの財政にはプラスに働くのか。

**【事務局】**

保険料収入の面だけ見れば、被保険者数の増加は財政面ではプラスに働くと考える。

**(2) 協会けんぽ福岡支部調査研究事業について（報告）**

事務局より、資料2に沿って説明。

**【事業主代表】**

重複服薬者のアンケート結果で約90%の人がお薬手帳を持参しているという結果は、お薬手帳の効果が疑われる。

現在、AI でいろんな分析ができるのになぜ、重複投与や禁忌などに踏み込めないのか。

これは支部や保険者単位ではなく、国は真剣に取り組まないといけないと思う。ぜひ協会けんぽからも国にデータベース化するという働きかけをしてもらいたい。

**【学識経験者代表】**

患者から睡眠薬をくださいといわれると医者は断りにくい。

どうして睡眠薬がほしいかといえは依存しているから。

重複を防止するには本人にアプローチするしかない。調剤薬局がいくら頑張っても難しいと思う。

調剤薬局に重複の状況を通知するのであれば、県薬剤師会で重複を発見した場合のルールを決めてもらい通知するようにしないと難しい。

**【事務局】**

県薬剤師会に伝えたいと思う。

**【被保険者代表】**

福岡支部の調査結果を本部に報告して全国で調査をしてもらい、国を含めた関係団体と協議してもらいたい。

また予算案を示すときと決算の見込みを示すときは、どうやって医療費を削減していくのかということとセットにして提示してもらいたい。

【(3) 令和2年度福岡支部事業計画（うち医療費適正化部門）の検討について】

事務局より資料3に沿って説明。

【被保険者代表】

メンタルヘルス対策セミナーについて福岡市、北九州市、飯塚市と共催になっているが、久留米市が入っていないのは何か事情があるのか。  
久留米市もメンタルヘルス対策事業に力を入れている。

【事務局】

福岡労働局が主導で実施しているため、事情は把握していないが、久留米市の会場でセミナーは実施している。  
来年度は久留米市も参加するよう提案していく。

【学識経験者代表】

糖尿病薬服薬中断者の重症化予防事業において福岡市も同様の事業を行っているということであったが、具体的にどのような違いがあるのか。

【事務局】

違いとしては、福岡市では中断者を AI を使って予測し優先的に通知しているが、福岡支部では4か月以上治療を中断している人に通知文書を送ることになっている。

【学識経験者代表】

メンタルヘルス対策セミナーの目的は。

【事務局】

メンタル不調者発生時に、早期に職場復帰してもらいたいとか、どう対応していいかわからないというご意見に応える形でセミナーを例年開催している。

【学識経験者代表】

メンタルヘルスといっても様々ある。  
事業所としてはどのような問題意識をもっていて、どのようなセミナーを実施してもらいたいのか聞いてみたい。

**【事業主代表】**

個人でも固有差があり、メンタルヘルスをどのように取り組めばよいか悩んでいる。

ぜひ福岡支部としてもメンタルヘルス対策セミナーに力を入れてやっていただきたい。

**【学識経験者代表】**

セルフメディケーションの推進はやっているのか。

**【事務局】**

昨年3月に健康保険委員向けのセミナーでジェネリック医薬品の講演をした際、OTC 医薬品の説明を実施したが、広報誌等で積極的に実施していない。

**【議長】**

事務局から前回の評議会を経て今回提案のあった、壁紙新聞のアイデアはどうか。冬休みの課題として子供たちに広く働きかけをしてもらうということによろしいか。また、資料3の案1～案6についても同様にすすめてもよいか。

**【被保険者代表】**

今回の案の中には医療機関へのアプローチがないので、今後は医療機関も一緒に協力してもらえる事業も来年度以降検討してもらいたい。

**【評議員】**

(壁紙新聞のアイデア及び資料3の案1～案6ともに)  
異議なし。

( 以 上 )